

会津地域における夏そばの栽培法

福島県農業試験場会津支場

平成11年春夏作試験成績概要(会津支場)

平成12・13年福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

普通畑作物ーソバー作型・栽培型

分類コード 02-09-13180000

2 担当者

渡部 隆・齋藤正明・齋藤弘文・山田英雄・大谷裕行

3 要旨

会津地域における夏ソバ栽培法の確立に向け、播種適期及び施肥法について検討した。

- (1) 成熟期は、4月26日播種で7月5～12日、5月5～6日播種で7月13～14日、5月15～16日播種で7月17～27日、5月24～26日播種で7月31日～8月4日となった。
- (2) 地力が中庸な普通畑で、基肥窒素0.2kg/aのみで栽培した場合(1999年、2000年)、5月15～16日播種が最も多収であり、播種期がこれより早いと、生育量不足で収量が低く、またこれより遅いと、開花数の割に着果数が少なくて収量が下がった。外観品質は、5月16日播種が最も優った。地力の高い転換畑で栽培した場合(2001年)、5月15日播種よりも4月26日播種で収量品質とも優った。
- (3) 5月16日以前の播種では、施肥量を増やすことによって収量性が向上した。
- (4) 以上のことから、梅雨末期(7月20日前後)の集中豪雨による倒伏等の被害を回避する観点から播種適期を考えると、7月中旬以前に成熟期を迎える4月下旬～5月上旬の播種がよいと考えられる。この場合、慣行の施肥量(基肥窒素0.2kg/aのみ)だけでは、生育量が確保されずに減収することが考えられることから、着蕾期窒素追肥などにより、生育量を確保する必要がある。

4 その他の資料等

なし